

2015年冬から2016年春にかけて、劇場の耐震補強と屋根、壁の改修が、鳥取県と鳥取市により実施されました。その後夏にかけて、劇場の機構・客席などをサポーターの皆さんの寄付と自己資金により全面改修。2016年7月30日(土)には、鳥取県知事、鳥取市長をはじめ、お世話になった方々をお招きし、劇場スタート10周年記念も兼ねた新劇場完成披露のお披露目会を行いました。当日は、238名の方にお越しいただき、こけら落としとして『三びきのやぎのらがらどん』を上演。劇場の機構も皆さんにご覧頂いた後、懇親会を実施しました。みなさんのご寄付、ご協力で改めて感謝申し上げます。  
※耐震補強のおかげで、2016年10月21日の鳥取県中部地震でも、大きな被害はありませんでした。ご心配いただいたみなさん、ありがとうございました。



**チケット料金** 大人:2,000円 / 高校生:500円 / 中学生以下無料  
チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。料金はご来場時にお支払いください。※予約受付は1月9日(月・祝)10:00より  
電話 / 0857-84-3268 ウェブ / www.birdtheatre.org 電子メール / ticket@birdtheatre.org

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場  
後援:鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野  
協賛:日本海テレビジョン放送株式会社

助成: 平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業  
文化庁  
公益社団法人企業メセナ協議会認定 M & Chat 企業メセナ協議会 助成認定活動

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

- 送迎します**  
JR浜村駅と劇場との間を車で送迎いたします。(無料、要予約)
- 託児します**  
小さいお子さまをお預かりします。(無料、要予約)
- 鳥のカフェがあります**  
上演の前後にまるさんによる淹れたてコーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。
- バリアフリーをめざします**  
障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡ください。
- 字幕あります**  
セリフが聞こえづらい方のために、手に持てる小さい“字幕”をご用意しております。

### 鳥の劇場へのアクセス

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話:0857-84-3268

#### ■JRを使って

劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。※公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。

- 浜村駅まで
  - ・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
  - ・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
  - ・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
- 浜村駅から
  - ・車で15分

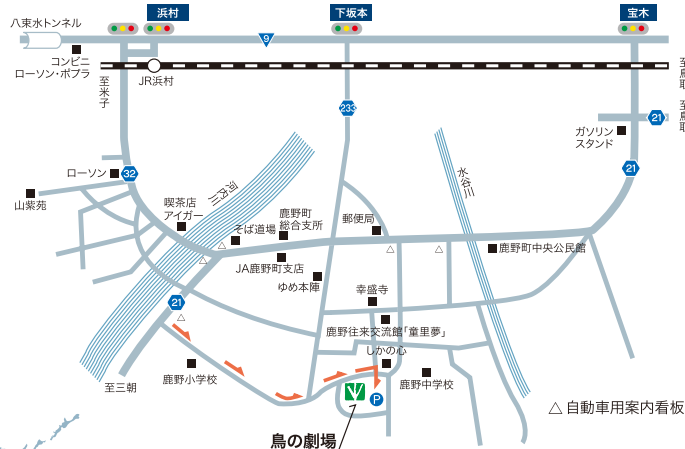
#### ■車を使って

公演日は会場近くに案内看板を設置します。

- ・鳥取自動車道、鳥取西ICから約30分
- ・鳥取空港から約30分
- ・鳥取市中心部から約40分
- ・倉吉市中心部から約50分
- ・米子市中心部から約1時間30分

#### ※ご宿泊について

- 山紫苑  
0857-84-2211 www.sanshien.jp
- お宿夢彦  
0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp
- 旅風庵  
0857-82-0531 www.ryofuan.com
- 浜村温泉 魚と屋  
0857-82-2400 www.oyado-totoya.jp/hamamura/



東京・大阪・神戸・京都・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。

鳥の劇場2016年度プログラム<創るプログラム>

「兵士の物語」は、ロシア民話をもとに書かれた台本にロシアの偉大な作曲家ストラヴィンスキーが曲をつけた音楽劇です。通常は、音楽と朗読の形で上演されることが多いのですが、この舞台はがっちりお芝居。生演奏付きの上演です。「老貴婦人の訪問」は、2006年の鳥の劇場スタート時の最初の演目です。マンガのような奇想天外な物語ですが、私たちの社会のあり方について、とても深い投げかけをしています。

# 金か愛か! 力か優しさか! 人間の強欲と気高きの衝突を描く 冬の二作品連続上演 兵士の物語

2017年2月10日(金)・11日(土・祝)・12日(日)14時開演

BIRD Theatre Company TOTTORI

## The Soldier's Tale

Written by C.F.Ramuz

Composed by Igor Stravinsky

Conceived and Directed by NAKASHIMA Makoto

2PM on February 10th, 11th, 12th 2017

## The Visit

Written by F.Dürrenmatt

Conceived and Directed by NAKASHIMA Makoto

2PM on March 10th, 11th, 12th 2017

Place  
BIRD Theatre  
1812-1 Shikano Shikano-cho Tottori City Tottori Prefecture 689-0405

#### Ticket

Adult 2,000yen  
High School Pupil 500yen  
Contact  
E-mail info@birdtheatre.org  
Telephone 0857-84-3268  
Web-site www.birdtheatre.org

鳥の劇場  
(鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857-84-3268)

# 老貴婦人の訪問

2017年3月10日(金)・11日(土)・12日(日)14時開演



冬の二作品連続上演にあたって

先日アメリカ大統領選挙の結果は、とても多くのことを考えさせてくれました。人間が長い時間をかけて築こうとしてきた良き理想と、自分の存在が無視されていると感じる人の不満や経済的な非充足感が、正面からぶつかり合い、後者が勝利しました。イギリスのEU離脱問題でも同様のことが起き、世界の他の場所でも同種のことがさまざまに起こっています。それがインパクトがあるのは、友愛、共存、平等など、人間にとって普遍的価値、大義とされてきたことが、世界で最も先進的と考えられている社会において否定されたからです。戦争のない平和な社会にしよう。人種や性別、信仰による差別や抑圧のない社会にしよう。親の経済力や権力のあるなしによって、子どもの可能性がせまられることのない社会にしよう。そういう大義がある面できれいごとに過ぎないことは、みなよくわかっていました。でも、「そうは言っても、大事なことなんだよ。政治家が本気で言っているとは別に思ってるわけでもないんだけど。それでもやっぱね。」というくらい感じて多くの人が大事にしようとして来た。いざという時にはスイッチが入って、大義に沿う選択を社会はしてきた。そしてそういう過程を通じて「きれいごと」は、少しずつ鍛えられ、社会の中に実体として根付いて来ている。それがしかし、僅差とはいえ、

戦場で疲れた兵士。悪魔は彼に快樂を与え、音楽を奪った。生演奏と芝居が緊密につむぐ悪い夢。

# 兵士の物語

2017年2月10日(金)・11日(土・祝)・12日(日)14時開演

台本原作:C.F.ラミューズ 作曲:イゴール・ストラヴィンスキー 構成・演出:中島諒人 編曲(トランスクリプション):武中淳彦  
演奏:吉川裕之(クラリネット) 武中淳彦(ヴァイオリン・ヴィオラ) 渡邊芳恵(ピアノ) 前田啓太(パーカッション)

敗戦70年の年である2015年に、戦争の世紀20世紀を振り返ることを目的に初演した作品の再演。第一次世界大戦が終わる直前、ロシア民話を原作に書かれた台本にストラヴィンスキーが曲をつけた。大衆社会の出現、物質的繁栄の時代を予見し、人間の欲望の限界のなさを、戦争とビジネスを通じて描いている。通常の上演では、音楽と朗読を主にして、演劇的な要素は限られている。が、この演出では、演劇によって物語構造を明確に表し、朗読中心の上演では見えてこない予言的部分を強く浮かび上がらせている。音楽と物語の関係の緊密さが一層明晰になり、作曲者の意図が浮かび上がった。「兵士」は、戦場の兵隊だけでなく、経済戦争に翻弄される現代人の姿も含意している。

【上演履歴】  
2015年9月 『鳥の演劇祭8』 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)



先進社会の政治的な意思決定システムの中で否定された。工業化、情報化、グローバル化などと呼ばれる状況の加速や肥大が、この事態を招いているのです。さて、私たちはどうすべきなのでしょう。

二月と三月の連続上演は、そういうちょっと面倒くさいことも思いながら作った芝居です。バカなことや面白いこともいっぱい考えて作っているのですが、そういう面倒なことも思っているのです。演劇のいいところは、面白くて楽しいのだが、同時に世界の現在や過去や未来のことも考えることができる場所です。寒い時期です。が、じっくり落ち着いて考えるのにはいい時期でもあります。是非お越しください。改修工事で暖房の効きも良くなりました。毛布もあります。実は、改修の後、鳥の劇場としては初めての公演でもあるのです。気合いが入っています。(鳥の劇場芸術監督 中島諒人)



貧困のどん底のこえだめ町、大富豪の老婦人が、経済援助と引き換えに殺人を求めた。

# 老貴婦人の訪問

2017年3月10日(金)・11日(土)・12日(日)14時開演

原作:F.デュレンマット 構成・演出:中島諒人

スイスあたりの田舎。「こえだめ」ともよばれるさびれた市。ゲータが逗留した、ブラームスの弦楽四重奏が初演されたなど、かつては栄えた都市だった。が、現在は疲弊著しい。世界一の金持ちである老貴婦人クレールが、そこを訪問する。彼女はこの市出身。市の人々は彼女から寄付を得ようと、彼女のかつての恋人イルを立てて彼女を迎える。巨額の寄付を彼女は市長と市民に約束するが、引き換えに市民に求めたのは、イルのことを誰かが殺すことだった。イルは50年前、クレールを裏切って、別の女性と結婚し、それがきっかけで彼女は市を出て行かざるをえなくなった。市長も市民も、当初、クレールの提案をはねつける。が、貧困にあえぐ人々の心は、少しずつ揺れ始め、狂った熱が彼らを駆り立て始める。

【上演履歴】

- 2006年5月 『Shizuoka春の芸術祭2006』 静岡県舞台芸術センター舞台芸術公園(静岡)
- 2006年9月 『鳥の劇場オープニングプログラム - 4作品連続上演』 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)
- 2007年3月 『中四国演劇フェスティバル』 岡山県天神山文化プラザ(岡山)
- 2007年4月 『高知県立美術館舞台公演シリーズ vol.40』 高知県立美術館(高知)
- 2007年8月 『利賀フェスティバル2007』 利賀芸術公園(富山)
- 2007年10月 『鳥の劇場07/08秋冬プログラム』 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)
- 2009年9月 『鳥の演劇祭2』 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)
- 2010年5月 『鳥の劇場2010年度プログラム』 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)
- 2010年6月 トマ・カラジウ劇場(ルーマニア・ブローエシテ) / 『シビウ国際演劇祭』 GONG THEATRE(ルーマニア・シビウ)
- 2010年10月 『瀬戸内国際芸術祭2010』 小豆島肥土山農村歌舞伎舞台(香川・小豆島)